

# ものの重さをしらべよう

B

## 実践概要

ものの重さを体感で比べ、はかりやてんびんを使って測定し、形を変えると重さが変わるかを調べる。解決の手順を見通しながらグループで話し合い、試行錯誤して考える。

## 使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

たのしい理科（大日本図書）  
タブレット  
テレビ 60インチ

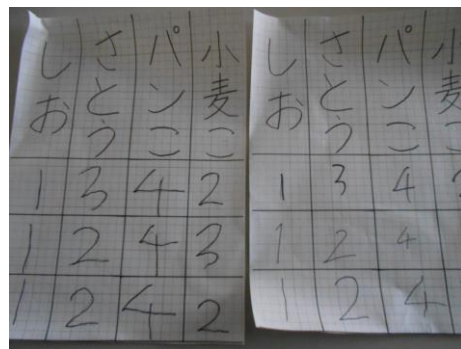
## 単元計画（全6時間）

	○主な学習活動	●指導上の留意点・◇評価内容等
一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はかりやてんびんの使い方を知り、身の回りのものの重さを調べる。</li> <li>○いろいろな形に変えたときの重さを調べる。</li> <li>○ブロックの形を変えて重さを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇身の回りのものの重さに興味・関心をもち、進んでもの重さを比べようとしている。</li> <li>◇はかりを適切に使って、安全にものの重さを調べている。</li> <li>◇ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。</li> <li>●はかりを適切に使うことができるように指導する。</li> </ul>
二 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じ体積で、種類の違うものの重さを比べる。</li> <li>○種類の違うものの比べ方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ものの体積を同じにしたときの重さを比較して、それらについて予想をもち、表現している。</li> <li>●グループの中で試行錯誤し、途中で実験方法や道具を変更してもよいことを伝える。</li> </ul>
三 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種類の違うものは、体積を同じにして比べることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ものは体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。</li> <li>●体積という言葉の意味を理解させる。</li> </ul>

## ここに注目！（本事例のポイント）



あらかじめ結果を予想してから実験の方法をグループで話し合い、記録できるようにした。1度だけではなく複数回実験ができるようにした。



実験の結果を視覚的にまとめ、実験方法の違いに気が付きやすいようにした。また、各班の実験の結果の違いを分かりやすくした。